

排出削減実施事業者名	ABC工業株式会社
工場・事業場名	三島工場
目標保有参加者タイプ	タイプC

敷地境界の識別根拠	工場立地法の届出書類より識別
-----------	----------------

排出源 No.	排出源	排出源の種類 (~)	排出源の特定の根拠	算定対象外	対象外とする理由		コジェネ設備	外部供給	備考
					(A~D)	「その他」の理由			
1	中央受電所		消防法届書類						
2	重油ボイラ		消防法届書類						
3	廃棄物焼却炉	,	大気汚染防止法届出書類						助燃剤としてA重油を使用
4	ガスボイラ		消防法届書類						2007年5月1日より稼働
5	LPGコジェネ		高圧ガス保安法届書類						
6	自家発電設備		消防法届書類						
7	灯油ストーブ		納品伝票	対象外	A				
8	LPGボイラ		消防法届書類						2007年5月1日に撤去

【記入上の注意事項】

- 1) 「敷地境界の識別根拠」には、識別に用いた公的届出・申請書類を記載(工場の場合は工場立地法届出、消防法届出、登記簿謄本等、事業場の場合は消防法届出、建築基準法に基づく建築確認申請等)。
- 2) 排出源の種類を以下から選択すること(詳しくは実施ルール「3. 排出量の算定方法」を参照)。
燃料の使用に伴うCO2排出 電気・熱の使用に伴うCO2排出 廃棄物の焼却・使用等に伴うCO2排出 工業プロセスに伴うCO2排出
- 3) 対象外とする理由は以下から選択すること。
A:少量排出源に該当する為 B:工場・事業場外における移動排出源の為 C:電気・熱を全て外部へ供給している為 D:その他(具体的に記入)
- 4) 「排出源の特定の根拠」には、排出源を特定する際に用いた書類等を記入すること。
- 5) 欄が足りない場合には追加して記入すること。

排出源	1. 中央受電所
燃料 / 電気 / 熱 / 廃棄物 / 原料	系統電力

購買量	モニタリングポイント名		P1
	測定機器		精密電力量計(三菱電機製)
	エビデンス(証拠)		電力会社伝票
	モニタリング担当者		船橋健一郎
	モニタリング責任者		北田登
	活動量	計画値	500万kWh
		要求Tier	Tier 3
		自己Tier	Tier 3
	単位発熱量	デフォルト値/実測値/その他	-
		実測値/その他の根拠	-
		要求Tier	-
		自己Tier	-
	排出係数	デフォルト値/実測値/その他	デフォルト値
		実測値/その他の根拠	-
要求Tier		Tier 1	
自己Tier		Tier 1	
備考			
その他	クロスチェック	方法	液体燃料の場合 には記載必須
		エビデンス(証拠)	
		担当者	
		責任者	
	ガス	体積-重量換算式	気体燃料の場合 のみ記載
		体積-重量換算式根拠	
		温度・圧力換算式	
		温度(T)根拠	
		圧力(P)根拠	
	備考		

排出源	2. 重油ボイラ、3. 廃棄物焼却炉
燃料 / 電気 / 熱 / 廃棄物 / 原料	A重油

購買量	モニタリングポイント名		P2	
	測定機器		微量燃料油メータ以外	
	エビデンス(証拠)		納品伝票	
	モニタリング担当者		市田陽一	
	モニタリング責任者		北田登	
	活動量	計画値	1,000kL	
		要求Tier	Tier 2	
		自己Tier	Tier 4	
	単位発熱量	デフォルト値/実測値/その他	デフォルト値	
		実測値/その他の根拠	-	
		要求Tier	Tier 1	
		自己Tier	Tier 1	
	排出係数	デフォルト値/実測値/その他	デフォルト値	
		実測値/その他の根拠	-	
要求Tier		Tier 1		
自己Tier		Tier 1		
備考				
在庫量	モニタリングポイント名		P3	
	測定機器		液面計(日本クリンゲージ(株))	
	1目盛の大きさ		500L	
	エビデンス(証拠)		日報	
	モニタリング担当者		島村武司	
	モニタリング責任者		北田登	
	備考			
その他	クロスチェック	方法	月報の使用量データと購買量を比較	
		エビデンス(証拠)	管理月報	
		担当者	長谷川仁志	
		責任者	北田登	
	ガス	体積-重量換算式		
		体積-重量換算式根拠		
		温度・圧力換算式		
		温度(T)根拠		
		圧力(P)根拠		
	備考			

排出源	3. 廃棄物焼却炉
燃料 / 電気 / 熱 / 廃棄物 / 原料	廃プラスチック

実測量	モニタリングポイント名		P6	
	測定機器		ホッパースケール	
	最大公差		-	
	有効期間		期限切れ	
	検査機関		-	
	エビデンス(証拠)		日報	
	モニタリング担当者		水上浩志	
	モニタリング責任者		北田登	
	活動量	計画値	100t	
		要求Tier	Tier 1	
		自己Tier	無し	
	単位発熱量	デフォルト値/実測値/その他	-	
		実測値/その他の根拠	-	
		要求Tier	-	
		自己Tier	-	
	排出係数	デフォルト値/実測値/その他	デフォルト値	
		実測値/その他の根拠	-	
要求Tier		Tier 1		
自己Tier		Tier 1		
備考				
その他	クロスチェック	方法	製品製造量との比率を確認	
		証拠	日報	
		担当者	水上浩志	
		責任者	北田登	
	ガス	体積-重量換算式		
		体積-重量換算式根拠		
		温度・圧力換算式		
		温度(T)根拠		
		圧力(P)根拠		
	備考			

排出源	4.ガスボイラ、
燃料/電気/熱/廃棄物/原料	都市ガス

実測量	モニタリングポイント名		P4
	測定機器		回転式流量計(日東精工製)
	最大公差		±2%
	有効期間		2008/3/31
	検査機関		中部計量検定所
	エビデンス(証拠)		日報
	モニタリング担当者		長谷川仁志
	モニタリング責任者		北田登
	活動量	計画値	1,000千Nm3
		要求Tier	Tier 1
		自己Tier	Tier 3
	単位発熱量	デフォルト値/実測値/その他	その他
		実測値/その他の根拠	ガス会社の提供値
		要求Tier	Tier 2
		自己Tier	Tier 2
	排出係数	デフォルト値/実測値/その他	その他
		実測値/その他の根拠	ガス会社の提供値
要求Tier		Tier 1	
自己Tier		Tier 2	
備考			
実測量	モニタリングポイント名		P5
	測定機器		回転式流量計(日東精工製)
	最大公差		±2%
	有効期間		2008/3/31
	検査機関		中部計量検定所
	エビデンス(証拠)		日報
	モニタリング担当者		長谷川仁志
	モニタリング責任者		北田登
	活動量	計画値	800千Nm3
		要求Tier	Tier 1
		自己Tier	Tier 3
	単位発熱量	デフォルト値/実測値/その他	その他
		実測値/その他の根拠	ガス会社の提供値
		要求Tier	Tier 2
		自己Tier	Tier 2
	排出係数	デフォルト値/実測値/その他	その他
		実測値/その他の根拠	ガス会社の提供値
要求Tier		Tier 1	
自己Tier		Tier 2	
備考			

排出源	4.ガスボイラ、
燃料 / 電気 / 熱 / 廃棄物 / 原料	都市ガス

その他	クロスチェック	方法	
		エビデンス	
		担当者	
		責任者	
	ガス	体積-重量換算式	-
		体積-重量換算式根拠	-
		温度・圧力換算式	$V_N = V \times 273 / (273 + T) \times P$
		温度(T)根拠	本制度HPで提供されている値
		圧力(P)根拠	日報
	備考		2007年5月1日以降

排出源	5. LPGコージェネ
燃料 / 電気 / 熱 / 廃棄物 / 原料	LPG

購買量	モニタリングポイント名		P7
	測定機器		LPGメータ
	エビデンス(証拠)		納品伝票
	モニタリング担当者		市田陽一
	モニタリング責任者		北田登
	活動量	計画値	700t
		要求Tier	Tier 2
		自己Tier	Tier 3
	単位発熱量	デフォルト値/実測値/その他	デフォルト値
		実測値/その他の根拠	-
		要求Tier	Tier 1
		自己Tier	Tier 1
	排出係数	デフォルト値/実測値/その他	デフォルト値
		実測値/その他の根拠	-
要求Tier		Tier 1	
自己Tier		Tier 1	
備考			
在庫量	モニタリングポイント名		P8
	測定機器		液面計(日本クリンゲージ(株))
	1目盛の大きさ		0.5t
	エビデンス(証拠)		日報
	モニタリング担当者		島村武司
	モニタリング責任者		北田登
	備考		
	備考		
発電量 (所内消費電力)	モニタリングポイント名		P9
	測定機器		普通電力量計(東芝製)
	最大公差		±3.0%
	有効期間		2010/9/31
	検査機関		日本電気計器検定所
	エビデンス(証拠)		日報
	活動量	計画値	10,000kWh
		要求Tier	Tier 2
		自己Tier	Tier 2
	モニタリング担当者		戸田進
	モニタリング責任者		北田登
備考			
その他	クロスチェック	方法	
		エビデンス	
		担当者	
		責任者	
	ガス	体積-重量換算式	10kg = 4.82m3
		体積-重量換算式根拠	本地域の標準産気率を使用
		温度・圧力換算式	$V_N = V \times 273 / (273 + T) \times P$
		温度(T)根拠	本制度HPで提供されている値
		圧力(P)根拠	日報
	備考		2007年5月1日以降

排出源		6. 自家発電設備	
燃料 / 電気 / 熱 / 廃棄物 / 原料		都市ガス	
実測量	モニタリングポイント名		P10
	測定機器		回転式流量計(日東精工製)
	最大公差		±2%
	有効期間		2008/3/31
	検査機関		中部計量検定所
	エビデンス(証拠)		日報
	モニタリング担当者		戸田進
	モニタリング責任者		北田登
	活動量	計画値	500千Nm3
		要求Tier	Tier 1
		自己Tier	Tier 3
	単位発熱量	デフォルト値/実測値/その他	その他
		実測値/その他の根拠	ガス会社の提供値
		要求Tier	Tier 2
		自己Tier	Tier 2
	排出係数	デフォルト値/実測値/その他	その他
実測値/その他の根拠		ガス会社の提供値	
要求Tier		Tier 1	
自己Tier		Tier 2	
備考			
所内消費電力	モニタリングポイント名		P11
	測定機器		普通電力量計(東芝製)
	最大公差		±3.0%
	有効期間		2010/9/31
	検査機関		日本電気計器検定所
	エビデンス(証拠)		日報
	活動量	計画値	8,000kWh
		要求Tier	Tier 2
		自己Tier	Tier 2
	モニタリング担当者		戸田進
	モニタリング責任者		北田登
	備考		
外部供給電力	モニタリングポイント名		P12
	測定機器		普通電力量計(東芝製)
	最大公差		±3.0%
	有効期間		2010/9/31
	検査機関		日本電気計器検定所
	エビデンス(証拠)		日報
	活動量	計画値	2,000kWh
		要求Tier	Tier 2
		自己Tier	Tier 2
	モニタリング担当者		戸田進
	モニタリング責任者		北田登
	備考		

排出源	6. 自家発電設備
燃料 / 電気 / 熱 / 廃棄物 / 原料	都市ガス

その他	クロスチェック	方法	
		エビデンス	
		担当者	
		責任者	
	ガス	体積-重量換算式	-
		体積-重量換算式根拠	-
		温度・圧力換算式	$V_N = V \times 273 / (273 + T) \times P$
		温度(T)根拠	本制度HPで提供されている値
		圧力(P)根拠	日報
	備考		

排出源	5. LPGコージェネ、8. LPGボイラ
燃料 / 電気 / 熱 / 廃棄物 / 原料	LPG

購買量	モニタリングポイント名		P7
	測定機器		LPGメータ
	エビデンス(証拠)		納品伝票
	モニタリング担当者		市田陽一
	モニタリング責任者		北田登
	活動量	計画値	700t
		要求Tier	Tier 2
		自己Tier	Tier 3
	単位発熱量	デフォルト値/実測値/その他	デフォルト値
		実測値/その他の根拠	-
		要求Tier	Tier 1
		自己Tier	Tier 1
	排出係数	デフォルト値/実測値/その他	デフォルト値
		実測値/その他の根拠	-
要求Tier		Tier 1	
自己Tier		Tier 1	
備考			
在庫量	モニタリングポイント名		P8
	測定機器		液面計(日本クランゲージ(株))
	1目盛の大きさ		0.5t
	エビデンス(証拠)		日報
	モニタリング担当者		島村武司
	モニタリング責任者		北田登
	備考		
発電量 (所内消費電力)	モニタリングポイント名		P9
	測定機器		普通電力量計(東芝製)
	最大公差		±3.0%
	有効期間		2010/9/31
	検査機関		日本電気計器検定所
	エビデンス(証拠)		日報
	活動量	計画値	10,000kWh
		要求Tier	Tier 1
		自己Tier	Tier 2
	モニタリング担当者		戸田進
	モニタリング責任者		北田登
備考			
その他	クロスチェック	方法	
		エビデンス	
		担当者	
		責任者	
	ガス	体積-重量換算式	10kg = 4.82m3
		体積-重量換算式根拠	本地域の標準産気率を使用
		温度・圧力換算式	$V_N = V \times 273 / (273 + T) \times P$
		温度(T)根拠	本制度HPで提供されている値
		圧力(P)根拠	日報
	備考		2007年4月1日 ~ 4月30日